

町長の挨拶

活動は決断しており、期程
な現況下にあつての本年度
予算編成は先づ歳入に於て
町税一、八〇〇万円交付税
一、三〇〇万円を基本とし
外若干の歳入財源しか期待
出来ず到底新規事業に對す
る財政投資は困難であり、
自然波生の經常費。更に年
次計画的なものに止め財
政の健全化に方向を転じ既
住の事業債に對する整理を
致す可く決意をした次第で
あります。

町政に、たゞさわるものと
否とを問わず町を愛する者
は誰もが配慮する共通の問
題として郷土の平和的綜合

おり従つて之等事業の推進
に伴い、財斜負担の整理に
を今後の課題であり又当然
の措置と思料致し本年度最
終予算を五、五〇〇万円程
度に圧縮し差当当初予算と
しては議会の改選期でも御
座いますので經常なものと
して別途一般会計三、六六
〇万を提案し需要費につい
ては極力節減を図り住民の
経済負担を軽減すべく努力
する決意でございます。当
町の平時に於ける歳入は経
常的支出に相当し極めて所
得水準の低い現況から判断
して農業を主体として各種
産業の振興は行政的に又政

久松久が策を中心に述べた上最も重要なことが町行政に冷水害、凶漁等の復興対策の上からも緊要を要するものであらうと確信致し議会の強い御支援を乞ひ願ふ次第であります。特別会計の国保事業については廿九年に於て下佐呂間診療所を設置し町内的に見て一応の施設が完備致しましたので本年度は事業の円滑化に力を注ぎ社会保障の前衛的制度を更に一層徹底しその強化を図る所存であり更に国保病院の運営については兼ねね病院運営委員会の極

めて建設的な助言と協力を
いただいており本年度から
は被保険者の大宗をなす農
家経済の逼迫等から関係機
関特に農協の協力を求め止
むを得ざる者に対する一部
負担金の猶予等を図り公共
医療機関の性格を発揮しつ
つ慎重にして積極的な運営
により利用率の増加と併せ
収支の均衡に努力する所存
で御座います。

提案予算の内容については
歳入を昭和二十九年度の事
績を基準とし歳出は真に止
むを得ざるものを計上致し
ましたが今後歳出の増加は
歳入の据置の場合に於ても
追加の必要がありますこと
を併せて申し上げ御了解を
お願申上げる次第で御座い
ます。

尚最後に町営苗圃の設置について兼て議決事項であり、民有林の育成こそ備荒財産とし或は薪炭備林、民有風防林等その重要性から森林組合と充分協調を保ち経営の合理化と民有林の育成強化に務めたいと思う次第であります。

以上本年度施政のがい要を申し上げましたが非常に抽象的であり具体的には別途詳細説明申し上げます。非常に微力ながら馬に捷打誠心の運営に当る決意で御座いますので厳正なる御批判を下され宜敷御支援を賜りたく御願ひ申し上げます。

(予算の内容は別項の通り)

特別會計	國民健康保險	歲入	豫算
○統計調查費	一、選學費	三六四	一六四
二、公債費	三、諸支出金	五〇四	二六九
四、予備費	歲出合計	三六、六〇〇	四四三

[illegible][illegible][illegible]

農業振興方策について

産業課農産係

「冷害克服農業復興運動展開について」

昭和二十八年二十九年度の相次ぐ冷害凶作は、農家経済の逼迫速度をはやめ今にして農家が農業経営と生活の合理化に努めなければ農村生活の基礎を危殆におちいらしめる結果となりますので本町としては、かかる事態に対処して農家の経済的安定と向上を図るためには総力を結集して単位当り生産力の維持増産を図り、主要食糧飼料の総合的自給度の向上を促す一方農業経営の安定に資するための諸施策と社会保険措置を強力に実施することが当面する農業政策の基本方向であり従って冷害克服に当つては自然発生の災害に対処して適地適作の確立に努めると共に生活の合理化により農家経済の安定強化を図ることを基調として厳正なる農業経営の確立、農業生産基盤の充実改善、農家経済の安定を三大重点実施策として次に依り冷害克服農業復興運動を強力に展開致したいので特段の努力を願いたい。冷害克服農業復興運動対策

一、町の「う」事業について

指導態勢の確立

冷害克服農業復興対策推進本部の設置

(一) 農業計画の樹立

イ、農作物作付計画の指導

ロ、作況の把握

ハ、弘報活動重点事項の周知浸透

ニ、家畜増殖

ホ、土地改良耕土改良を組織的に組入れる

ヘ、地力培養のため自肥の増産指導

(三) 各種補助事業及農業資金の適正なる配分

(四) 備荒貯蓄の励行について

イ、種子（特に種粒豆類）

個人で二ヶ年分を保有せしめる様勧奨する

ロ、貯金

販売代金の五・一〇％程度を定期貯金せしめる様勧奨する

(五) 債務の返済計画

例年の債務農手その他の外冷害資金等の新たな債務が累加している

るので計画的に債務返済を履行する様特別な計画が必要であることがため貯金畑に準じて措置する

(六) 農業協同組合の強化

イ、組合意義の昂揚

ロ、共販態勢の確立

この場合単に集荷販売するに止まらず共同選別等により品質の均一

包装の堅格等を図り市場の信用を高めること

種子馬鈴しよ等の生産についても傷害の除去

品質包装の堅格についてには特に注意を要する

農家自ら行う事項について

(一) 食糧飼料を増産確保すること

(二) 畑作に於ては必ずしも輪作型式を實行すること

(三) 一時的な価格に眩惑された投機的偏重さく付けないこと

(四) 冷害に強い作物を四ヶ五割程度作付すること

(五) 備荒貯蓄に努めること

「備えあれば憂いなし」

イ、種子（特に種粒豆類）

はどんなときでも二ヶ年分を保存する習慣をつけること

ロ、貯蓄に努力すること

これがため経営面積の一部を貯蓄畑としてその生産代金をなるべく

定期で農協に貯金すること

ハ、債務の返済に努めること

債務返済のため一部基金は貯蓄畑の様な方法も考えられる、これを

実行すれば農業協同組合は自然に強化される

(六) 生活改善について

新生活運動の一つとして食生活台所、改善等

種種あるが計画的に一つ一つ改善して住良い

家庭を作ること努める事、又古い習慣や交

際上は於ける無駄な経費は極力はぶくこと

農作物総合作付計画

本町は他町村と比し地理てき関係位置並にオホソック

海流の影響により気象異変率が何れの地帯よりも激し

く、その被害の実態も広汎且深刻であることを過去二

ヶ年の農業災害が立証され

従つて今后における農業計画に於ては周期てきに襲来

するこの種農業災害に耐応する強靱なる措置を講ずる

様指導奨励する

一、水田の部

本町の稲作は一八八町歩で耕地面積の約六、三％

であるが自給食糧増産から見て今后に於ては一〇

％迄増開田を計画指導奨励する、作付に当つては

冷害地帯にあるので気象てきにも必要条件をこ

ごとく制約され幾多の氣象障害を受けるのでこれ

が改善については専らこれ

のでありれい害に依る被害を防止するため優良種子の普及苗代耕種改良改

善広中栽培その他に於ては従来方針を徹底強化する

の必要があり特に次の点留意いなし増産確保を図

りたい。

(一) 品種の適正配合

(二) 種子消毒

(三) 発芽試験の実施特に

昨年れい害皆無により他管内の移入種粒であるか

ら徹底を期したい。

(四) 施肥の合理化

(五) 適期採草の実施

(六) 普通畑作の部

本町の畑については耕地面積の九〇％以上を占め

ている。その作付について

は大部分が麦類及雑穀類の作付がされているが

今後の農業経営の合理化を図るには畑作の作付改

善が必要なる事項であるので今后のくさ付計画につ

いては充分考研する必要があるが主要さく物につ

いては次の様に計画した

(一) 麦類

麦類については畑作中の主要食糧の主を占めるも

反増収により食糧の増産を図る。

(二) 馬鈴しよ

馬鈴しよは寒地農業経営上欠く事の出来ないさく

物であり本町としても畑さく中主位をしめるもの

であるが消流状況に乘観を許されないものがある

ので特に昨年の濃粉の上昇のための増反の傾向に

あるが極端なる増反はさく単位生産量の向上によ

り馬鈴しよ栽培の安定を期したい。将来に於ては

畑地帯特に下佐呂間饒岩地区は従来種子更新五

ヶ年計画に基き品種改良と共に増反計画いたし優

良馬鈴しよを増産し本町の特産としてその価値を

期する方針である。昨年さく付は二八〇町歩で本

年は三〇〇町に増反し将来に於ては現有反別を維

持し増収につとめる。

(三) 雑穀

雑穀類については例年普通畑の約四割をさく付さ

れ本町販売さく物の王座をしめてはいるが、粟、稗

稲黍その他雑穀は収量も少く飼料価値も少ない

ので本年度からこれらのさく付を逐次大豆、薄荷

さく付転換してその生産増産を図る。

(イ) 大豆

され経済てきにも永続性を持つものであり生産農家に於ても近年国内食糧

油脂資源の自給の重大性を自覚し増産意識が向上

しつつあるがこ二ヶ年の凶さくを経験し特定品

種増さくは危険であるので本町気象地帯に適した

優良品種の普及栽培、技術の改善等につとめて反

当収量の増加と品質の向上を図りたい、昨年さく

付は三〇〇町歩であるが本年は二八〇町歩とし

将来に於ても現有反別を保持いたし増収につとめる

(ロ) 小豆、菜豆、青豌豆

昨年さく付二九五町歩で大豆に次ぐものであるが

国内外の消流を考へてさく付を必要とし特に品種

については雑穀を根絶し奨励品種のさく付を励行

し生産の増加を図り生産コストを引下げることに

依つて消流面を開拓し農業けい営のこう上に資す

る。本年は昨年より稍減反し二五〇町歩として

将来に於ても現有反別を維持しさく収につとめる。

(ハ) 玉蜀黍は最も有効な飼料さく物であり畜産

業営農上不可欠のものであり濃厚飼料或は青刈エ

ンシレーチ用として重要であるばかりでなく工業

原料として有望さく物で

で本年度からはこれらの
さく付を逐次減反いたし
薄荷、大豆、飼料さく物
に価値あるさく付に転換

(ロ) 薄荷
薄荷は需要量より見て有望であり本町のように適地帯に於ける農家けい済

藍の出荷等今后販路の開拓をし農家けい済のこう上につとめる

(三〇 三一付)
により助教諭を解く

農口

一〇六票	佐藤 一衛	無新
一〇五票	真如 正晃	無新
一〇〇票	佐高 治作	無前
八六票	藤次 国光	社新



四月三十日執行された本町から一斉に開票せられその
 議會議員選挙は好天に恵まれ結果次の通り得票数を決定
 せられた。各候補者の出足良く投票二十二名の当選者が確定選
 率、九割三分の好成績を挙げ、挙管理委員長よりそれぞれ
 げたが翌五月一日午前八時、当選証書が附与せられた

当選	二三六票	山内 春芳	民前
"	二二五票	西 喜作	無新
"	二三三票	西田 要造	無前
"	二二〇票	林 貞夫	民前
"	二一九票	黒沢 謙	無新
"	二〇八票	山添 武	社前
"	二〇六票	船木 長蔵	無前
"	一九〇票	田中 要作	無新
"	一八六票	江田喜太郎	無前
"	一八四票	杉谷 保	民前
"	一八二票	大沢佐太郎	無前
"	一八一票	久米田鶴夫	社前
"	一八〇票	中村 正	無前
"	一七〇票	田中 喜重	無新
"	一七〇票	中西 武雄	民前
"	一六五票	玉井繁太郎	無前
"	一六三票	郡 利夫	無前
"	一五三票	山元 邦良	民前
"	一五三票	伊藤 太郎	無前
"	一五三票	道下 吉秀	無新
"	一四二票	田村 稔	民前
"	一三九票	遠藤留八郎	無新
"	一二六票	石村 善治	共新
"	一二一票	岸本 茂	民前
"	一〇六票	佐藤 一衛	無新
"	一〇五票	真如 正晃	無新
"	一〇〇票	佐高 治作	無前
"	八六票	藤次 国光	社新

三月中行事表

- △一日 佐呂間町教育委員 会 於委員室
- 〃 樺太引揚者移転用地打合のための船木町長富武士え
- △二日 三年度予算編成打合のため庁内課長係長会議 於役場応接室
- 〃 町内各小学校長会議 於委員室
- 〃 産業労働者住宅資金貸付制度説明会 於役場議事室
- 〃 山火予防対策協議会出席のため佐々木技師網走え
- △三日 失業対策事業視察のため鯉ぶち北見公共職業安定所長米町現場視察
- △四日 衛生主任者会議出席のため中村主事遠軽町え
- △六日 佐呂間町高業学校卒業式
- △八日 冷害融資事務打合のため相田課長北見市え
- △九日 佐呂間町教育委員 会 於委員室
- 〃 漁港管理者指定関係町村ブロック会議出席のため大橋書記網走市え
- △九、十日 網走管内町村長会議出席のため船木町長留辺蘊温根湯え
- 〃 起債申請事務打合のため有川課長網走支庁え
- △十一、十二 災害特例債申請並昭和三十年起債事務打合会議出席のため有川課長網走および北見市え
- △十二 佐呂間町議会土木常任委員会 於役場委員室
- △十四 町議会民生教育常任委員会於役場委員室
- 〃 農業委員会特別委員会 於役場議事室
- 〃 国保「映画の夕」知来公民館にて午後六時より開催
- △十五、十六 管内町村林業奨励会議出席のため佐藤課長および佐々木技師留辺蘊温根湯え
- △十六 町議会産業常任委員会 於議事室
- △十七 農民同盟定期総会 於議事室
- △十八 町議会総務常任委員会 於役場委員室
- △十八 佐呂間中学校および幌岩中学校卒業式
- △十八、二十 地籍改正事務処理のため仲川課長札幌市え
- △十九、二十 管内戸籍事務研究会出席のため中村主事北見市え
- △十九 下佐呂間、浪速、若里各小中学校卒業式

- △二十 知来、仁倉、富武士、佐呂間各小中学校卒業式
- △二十二 国保運営委員 会 於役場委員室
- △二十四 労政事務連絡会議出席のため有川課長北見市え
- △二十五、二十六 北見中部税務研究会出席のため岸本主事北見市え
- △二十五、二十七日 才一 回佐呂間町議会 全員出席
- △二十六 地方選挙事務打合会出席のため、有川、宮崎、佐藤各係網走市え
- △二十六、二十七日 農地開発建設工事打合会議出席のため木下主事留辺蘊温根湯え
- △二十七、二十九 昭和三十年年度農業奨励会議出席のため相田、木下、大橋、上川、川崎各係紋別市え
- △二十七、二十八 失業対策事務打合会出席のため佐藤諭書記温根湯え
- △二十八 衛生指導委員 会議 於役場委員室
- △二十九 北海道知事選挙告示
- △三十 山火予防対策協議会出席のため、有川、宮崎、佐藤各係網走市え
- △三十、三十一 昭和三十年年度学株基本調査および学校衛生統計調査打合会出席のため田町書記網走市え
- △三十、三十一 網走管内総合開発期成会議出席のため山内議長、土田助役北見市え出張
- 臨時才二回町議会招集
- 改選後の初町議会は来る五月六日午前九時より町議会議事堂に招集せられるが当日の主なる議事は議長、副議長の選挙その他各委員の選任選挙が行われる。

たばこの

お買求めは努めて佐呂間町内のタ
バコ小売店で

佐呂間町役場

昨年五月より「たばこ消費税」が出来ることを御存じですか？

とは既に御存じのことと思えます。これ等の税金が引られるタバコの中に「たばこ消費税」として町の税金が含まれている訳です。昭和二十九年五月より現在まで「たばこ消費税」が新たに出来た訳です。たばこ消費税のたばこ消費税の収入状況は佐呂間町内において小売人が売捌いた小売定価総額に於いてタバコの価格は一、千八百円で百六十五万円という莫大なたばこ消費税

が収入されております。結局は間接的に町税収入に協力されていることになり、日常吸ふタバコは勿論のこと贈答用のタバコも旅行用のタバコもタバコをお買求めのときは是非佐呂間町内でお買求め下さい。

こと贈答用のタバコも旅行用のタバコもタバコをお買求めのときは是非佐呂間町内でお買求め下さい。

あの学校 納税で

この橋も

編輯後記

※本年四月から毎月発行の予定でありましたが選挙その他で忙殺を極めて四月もつい遅延致しましたがやつと才六号を発刊することが出来まして次号から予定通り毎月皆様の御手もとにどく様に致します故御了承下さい。

※本年は一月早々から選挙選挙とまったく選挙の事で明け暮れましたがやつとその選挙も済み吾等のよき選良を国会に道議会に又町議会に送り出すことが出来たのでいよいよ明るくなつて来ます。住みよい政治運営のため大いに活躍を期さなければならぬ時となりました、町理事者側議決機関たる町議

